

2019年2月

## 第13回 内痔核治療法研究会総会 演題募集のご案内

第13回内痔核治療法研究会総会  
当番世話人 梅枝 覚  
(JCHO 四日市羽津医療センター)

ALTA 療法が広く全世界に有用な治療法として認められるには、有効性が科学的根拠を持って証明され、有害事象をもとに対策を練られた安全性が確保され、決められた手技において普遍的な結果が導かれなくてはなりません。

名人芸の手技による治療では、世界には認められません。誰もができる確立した治療方法・手技こそが有効な ALTA 療法となり、習得さえすれば、誰でも同じ治療効果が得られるようになります。

日本における肛門科医の ALTA 療法に対しての ①統一した手技、②併用療法の定義、③安全性の確保が重要です。今回の研究会では、深く掘り下げて、より確立した手技、定義、安全性を確保したいと思い、2つテーマを設定致しました。

### 【主題】

1. ALTA 療法における有害事象 (公募、パネルディスカッション)
2. ALTA 併用療法の best therapy (公募、パネルディスカッション)

また、その他の企画として、「日本国内における内痔核治療の現状」をまとめようと考えております。是非アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

日本から発信できる、エビデンスのある内容のスタートとしたいと思いますので、奮って演題を応募いただき、活発な実り多い研究会にしたいと思います。

是非、公募演題の応募と総会への参加をお願い申し上げます。演題募集要項は次頁をご参照ください。

### 【第13回 内痔核治療法研究会総会 会告】

日 時：2019年7月21日(日曜日) 9:30~15:00(予定)  
会 場：ソラシティ カンファレンスセンター(東京都千代田区神田駿河台4-6)  
当番世話人：梅枝 覚 (JCHO 四日市羽津医療センター)  
参加費：3,000円  
共 催：内痔核治療法研究会、ジェイドルフ製薬株式会社

## 【第13回 内痔核治療法研究会総会 演題募集要項】

### 《募集テーマ》

1. ALTA 療法における有害事象
2. ALTA 併用療法の best therapy

#### 1. ALTA 療法における有害事象（パネルディスカッション）

硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸（ALTA）を用いた痔核治療法が多くの施設にて使用されているが、様々な有害事象が報告されています。

この有害事象は、防ぐことができるのか。実際に認められた有害事象の症例をもとに発表・検討していただき、より安全な使用方法を討論していただきたい。

#### 2. ALTA 併用療法の best therapy（パネルディスカッション）

ALTA 療法が、今まで行われてきた痔核治療法とともに色々な併用療法も報告されている。今回は ALTA 併用療法の種類、定義等を含め、ALTA 併用療法の best therapy を発表、検討していただきたい。

### 《応募資格》

応募および発表者は内痔核治療法研究会の会員（四段階注射法講習会受講医）のみとします。

### 《演題応募方法》

Eメールにて第13回内痔核治療法研究会総会事務局宛て、「演題抄録」をご送付ください。

### 《演題抄録》

演題名、所属、演者（共同演者含む）、および抄録本文（800字程度）を記載ください。

使用ソフトはMicrosoft Wordとし、文書名は「(演者名).doc」としてください。

### 《抄録提出締切日》

2019年4月12日（金）

### 《抄録送付先アドレス》

Eメールアドレス：[alta.zione@j-dolph.co.jp](mailto:alta.zione@j-dolph.co.jp)（全て半角小文字）

### 《ご応募に際して》

1. 演題（抄録）受付後、確認メールを差し上げます。連絡がない場合は事務局までお問い合わせください。
2. 抄録集は6月初旬に発行（発送）予定です。  
Eメールで応募いただいた内容が最終の抄録集原稿になります。
3. 抄録査読による演題の採否は、当番世話人へ一任しています。
4. 採否等は2019年5月初旬頃に連絡させていただきます。

### 《事務局》

〒571-0030 大阪府門真市末広町 31-8 サンコオア第3ビル6階

ジェイドルフ製薬株式会社 営業本部内「第13回内痔核治療法研究会総会 事務局」

担当：塚谷、小野 TEL 06-7507-2192 FAX 06-6907-3845

Eメール：[alta.zione@j-dolph.co.jp](mailto:alta.zione@j-dolph.co.jp)